

日本呼吸器外科学会 第29回—第3回理事会ニュース

日 時 2011年9月30日(金) 13:00~16:00

場 所 日本呼吸器外科学会 事務局

出席者(理事長) 近藤 丘

(副理事長) 奥村明之進

(会 長) 小川 純一

(副会長) 藤井 義敬

(理 事) 池田 徳彦 岩崎 昭憲 大貫 恭正 金子 公一 丹羽 宏

野守 裕明 三好新一郎 横見瀬裕保 吉野 一郎

(監 事) 川原 克信 千原 幸司

欠席者(理 事) 伊達 洋至 永安 武(委任状あり)

議 事

1. 第29回-第2回理事会議事録、第29回-第2回理事会ニュースが確認された。
2. 議事録署名人に金子公一、丹羽宏理事が指名された。
3. 第28回総会決算について(川原)

第28回総会が盛会裏に終えたことにたいして謝辞があった。また、川原前会長より第28回総会の収支等中、特に日本赤十字社を通じて東北地震義援金の報告があり了承された。

4. 福岡歯科大学より大学名改名に関する依頼について(近藤)

同大学の大学名を福岡口腔医科大学に改名することに関し意見を求められているが、医学部と歯学部の関係に関し口腔外科領域の関連学会に委ね判断を求めることで保留するとの意見をもって回答することになった。

5. 日本外科学会より臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン(案)について(近藤)

臨床医学で遺体を使用することについて、大学内で卒業教育の一環として必要であることから、このガイドライン(案)の基本的な部分については賛同することで意見を提出することとなった。

6. 各種委員会報告

(1) 総合専門医制度委員会(奥村)

1) 2012年度認定予定の呼吸器外科専門医書類審査結果(奥村・横見瀬)

①新規申請者120名中、合格者119名、不合格者1名であり、書類審査合格者には11月11日実施の筆記試験の受験資格が与えられることが報告された。

②更新申請者90名中、合格者88名、不合格者2名となったことが報告された。

③猶予申請者5名全員に猶予を認めたことが報告された。

2) 「外科系専門医制度における臨床データベースの意義」を日本臨床外科学会第73回総会で特別企画として講演すると報告された。

3) 外科関連専門医制度委員会でNCD関連及び専門医制度の対応について協議したと報告された。

(1-2) NCD関連作業部会(池田)

NCDにおいて、将来的に2階部分の入力項目等を構築し、データベースを学術目的に使用した新規プロジェクトに関しては公的な科学研究費に応募することが可能であると報告された。

(2) 国際委員会(奥村)

第29回日本呼吸器外科学会総会でアジア(インド・シンガポール・韓国・日本)の呼吸器外科シンポジウムが開催されると報告された。

(3) 学術委員会(伊達代奥村)

①第18回呼吸器外科セミナーについて講演内容及び演者を以下のように決定したことが報告された。

- 1) 原発性肺癌に対する区域切除術—根治性を得るための手技— (野守裕明 慶応大学)
- 2) 呼吸器外科再手術のノウハウ (浅村尚生 国立がん中央)
- 3) 呼吸器外科に必要な補助循環の知識 (市川肇 国立循環器病センター)
- 4) 肺癌治療のバイオマーカー (田中文啓 産業医大)
- 5) 非小細胞肺癌に対する放射線療法 (西村恭昌 近畿大学放射線科)

(4) 総合将来計画委員会(藤井)

特になし

(5) 総合教育委員会 (小川)

(5-1) 教育制度部会 (小川)

呼吸器外科サマースクールが2011年8月6日(土)7日(日)にテルモメディカルプラネックスで開催されたことが報告された。その際行われた受講生に対するアンケートの結果とサマースクール実施にあたっての収支に関する報告があり、次年度以降の開催と財政的支援の継続が提案され了承された。

(5-2) 手術教育部会 (丹羽)

J&JのMIT研究センターで開催予定の第29回胸腔鏡手術セミナーについて、東日本大震災の施設被害の修復は完了しているものの、参加申し込み者が非常に少なく中止する可能性があることが報告された。また、動物セミナーへの参加人数を増やすためにどのようなアプローチをするか、専門医が参加できるようなセミナーを開催できないか胸部外科学会の際に手術教育部会を開催して検討すると報告された。

(6) 総合診療対策委員会(岩崎)

平成24年度の診療報酬改定に関わる厚生労働省の医療技術評価のヒアリングが9月8日に開催され、①縦隔悪性腫瘍手術 2.摘出広汎及び②肺悪性腫瘍手術と胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術の診療報酬の細分化について説明を行ったことが報告された。

(7) 総合医療安全管理委員会(永安代池田)

①医療事故に際して学会内の鑑定人、委員等の推薦マニュアルを作成中であると報告された。

②過去の推薦案件を事例ごとに整理・データベース化し、会員への情報提供を行うことを考えていると報告された。

③学会内鑑定結果事後評価制度の確立につき検討することが報告された。

(8) 利益相反マネジメント委員会(横見瀬)

特になし

(9) ガイドライン検討委員会 (野守)

①「重症筋無力症の周術期管理のガイドライン (案)」に対して会員からの異論が無かったので案

を除いてホームページに掲載した。また、英文を作成中であると報告された。

②肺癌術後のフォローアップのガイドラインを作成中であると報告された。

③日本内視鏡外科学会ガイドライン委員会と共同で「気胸に対する胸腔鏡下手術のガイドライン」をCQ（Clinical Question、臨床的疑問）の形式で作成中であると報告された。

(10) 編集委員会(大貫)

①日本呼吸器外科学会投稿規定について、利益相反を所定の様式で提出するなど、一部改定することが諮られた承された。

②J-STAGE 3の電子投稿査読審査システムを申請し、来年の3月末までに運用開始となる予定であると報告された。なお、初期導入費及び年間利用費はJ-Stageの負担となるが、雑誌印刷までを含めた一連の見積書を担当代理店杏林社からとることとなった。

③二重投稿及び過去の論文の不備についてインターネット上から削除したと報告された。

(11) 移植委員会 (三好)

①移植関連学会合同委員会において、心肺同時移植実施施設に東北大学が認定されたと報告された。

②臓器移植関連学会協議会において、肺移植における臓器移植法改正下での1年と問題点について報告が行われたことが報告された。

③肺移植実施症例数の年次推移と施設別実施数が報告された。

(12) 渉外・広報委員会(横見瀬)

ホームページの会員限定ページ上への会員情報の掲載について審議され、承認された。

(13) 総務・財務委員会(池田)

平成23年9月27日現在の特定非営利活動法人に係る事業の会計収支計算及び事務処理が報告された。

(14) 定款・規則改訂委員会 (金子)

特になし

(15) 選挙管理委員会(丹羽)

特になし

(16) 評議員資格審査委員会(吉野)

例年通り募集、審査を行うことが報告された。

7. 第29回日本呼吸器外科学会総会について(小川)

ESTSとの交流、演題募集等の進捗状況が報告された。

次回理事会開催について

第29回第4回は、2011年12月9日(金)午後1時から